

令和5年度 学校評価シート

学校名： きのかわ支援学校 校長名： 石本 辰夫

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・一人ひとりが主人公になれる学校
- ・安全で安心して学べる学校
- ・保護者や地域とともにあゆむ学校
- ・自分で考え行動し、好きなことを見つけ楽しむ子ども
- ・心身ともに健康でたくましく、人とつながりあえる子ども

学校評価の公表方法

授業参観における保護者アンケート及び学校関係者アンケート等を学校運営協議会、育友会役員会に報告し、保護者に文書で知らせる。また、本校ホームページに公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（2月13日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	地域との連携や協働活動を学校全体として取り組む	C	生徒が理解し、主体的な活動を行う	生徒の意欲が見え、積極性があったか	B	生活年齢に応じた取り組みを地域とともに行ってきた。	高野口マルシェを中心に「地域に愛される学校づくり」を高等部作業班の活動をきっかけに、地域の方に本校の子どもたちのことを知っていただく機会となるように進めていく。
			学部の取り組みを明確にし、参加可能な体制を作る	各学部として役割分担し、参加できたか	A	高等部が中心となり、役割分担して取り組めた。	
			学校運営協議会の意見を取り入れ、参加体制を強化する	学校運営協議会の意見を反映されたか	A	学期に3回開催し、生徒が直接指導、助言いただいた。	
2	専門性の向上に向け、時知る活動の充実とICTを活用した授業づくりの研修を進める	C	研修を進めるにあたり、児童生徒の実態を正確に把握する	実態把握のアセスメントが確実にできたか	B	実態把握アセスメントは着実に実施できてきている。	・学校課題に応じた研修テーマの設定と教員一人一人が意欲的、主体的に取り組める研修方法の工夫。 ・ICT機器活用についての研修実施と情報教育部からの積極的な情報発信の必要性。
			研修を受けるにあたり、個人目標と指導事例を共有する	個人目標を作成し、事例を通して理解できたか	B	つきたい力を指導略案にチェックしている。	
			障害の重い児童生徒の学習支援、指導内容を行う	授業実践を行えたか	B	視覚入力装置等を利用しての実践を取り入れている。	
3	人権を大切に、教職員としてのモラルを重視し、指導する上で障害特性を理解した関わりをする	C	障害理解を行い、個々に対応ができるようにする	クラスの児童生徒の障害理解を研修で理解したか	B	障害理解は進めている。	・人権チェックシートを意識し、意識の向上及び改善に結びついた。いじめ未然防止に向け教員の意識を高める ・生涯学習課より学部講師を呼び研修会を開催し、児童生徒への人権意識の向上に努める。
			授業において、個々に寄り添った内容に取り組む	人権チェックシートを活用し、改善したか	A	チェックシートを年3回実施し、意識の向上を行った。	
			何事も評価を重視し、次にいかす指導をする	授業参観や学校運営協議会の意見を反映できたか	B	意見をいただき改良に努めている。	
4	目的や意図を明確に組織の在り方を理解する	C	組織としての定義、在り方を全職員に発信する	チームづくりに関して、管理職が統一できたか	A	日々、管理職間での情報共有や意見交流がスムーズに行った。	・各学部での教育目標を全職員で共通認識し、具体的取組や系統的な児童生徒の指導につなげる。 ・地域のセンター的役割として小中高との連携や専門性の向上に向けた取り組みを積極的に発信する。
			各分掌の目標を明確にし、役割を分担する	目標設定と役割を全職員で共有し、実施できたか	B	分掌部長を中心に、管理職も交えて協議を行った。	
			会議の設定や到達設定の重要性を理解する	会議の流れを理解し、到達改題が解決できたか	B	資料は事前配布し、会議時間設定を行った。	

学校関係者評価（2月13日実施）

- 学校評価保護者アンケート結果について
- 高評価の項目内容
- ・生徒一人一人に対して目が届いている。
 - ・毎日安心して通うことができる。
 - ・いつも生徒のために気配りに感謝する。
 - ・授業内容や支援方法などを臨機応変に変えていただき感謝する。
 - ・教材や教え方に様々な工夫をしている。
 - ・リハビリやデイとの連携も伝えるとすぐに実践していただき先生方の対応に感謝する。
 - ・親身になり生徒の相談に乗っている。
- 今後の課題
- ・社会参加するまでに必要となる力を身につけて欲しいという意見が複数ある。
 - ・産休育休制度には大賛成ですが、同じ学年に重なるのは、交代を知るたびに不安がます。

- 学校運営協議会委員からの意見
- ・先生方には並々ならない努力をしていただいていると感じています。しかし、時代の変化とともにベストがベターになり、バツになることもあります。生徒さんを大切に思う気持ちを根本に持ち、さらなる努力をお願いします。
 - ・目標に向かって一生懸命取り組んでおられます。児童生徒と向き合った指導には勉強させてもらっています。一人一人の良さや特性をより引き出し、将来の目標を持って物事に取り組む児童生徒の育成をよろしくをお願いします。